

経営方針  
2025年度

# 「価値(勝ち)の連鎖を極めて、未来を拓いていこう」

当社は中期経営計画「Mission G-second」を推進し、「稼ぎ力」に注力しています。具体的には、省エネ・効率化関連製品の市場投入や販路拡大、価格改定を行い、これに伴い生産性の向上を強化し、利益向上施策に取り組んでいます。2025年は「Mission G-second」の最終年度であり、これまでの「お客さま目線の行動」や「稼ぎ力」の集大成として、得られた収益を還元し、未来につなげていく所存です。



「Mission G-second」は企業の成長と社会的責任を両立させることを目指しており、4つの戦略(事業拡大、環境、人財、財務)を通じて次世代につながる価値を創造します。この中で「価値の連

鎖(バリューチェーン)の分析」をスローガンとして掲げており、これは自社のビジネスの強みや業界内での優位性を理解し、それを研鑽することでさらなる利益の創出を目指すことを意味します。



## Growth#1 事業拡大戦略

～価値の広がり、  
未来の市場へ～

Growth#1 事業拡大戦略は、当グループの強みを活かし、各事業を成長させるものです。国内外の市場でさらなる成長を目指し、新たな価値の創造に挑みます。既存の強みを活かし、EV化や自動化のニーズに応える次世代製品を展開して高付加価値なソリューションを提供していきます。

## Growth#2 環境戦略

～環境とともに、  
持続可能な未来へ～

Growth#2 環境戦略は、事業を通じて環境・社会問題と向き合い、ステークホルダーからの信頼を得て、持続可能な未来を目指します。事業活動全体で脱炭素や省エネに取り組み、環境負荷を低減する意識を持ちます。未来を見据え、グループ一丸となって地球環境と調和した事業運営を推進し、企業価値の向上を図っていきます。

## Growth#3 人財戦略

～未来を支える、  
学びと成長のステージ～

Growth#3 人財戦略は、従業員一人ひとりの成長を促し、組織の力を強化し、労働生産性の向上に取り組めます。従業員一人ひとりが成長を実感できる環境をつくり、技能伝承にも注力していきます。さらに、スキルアップやリーダーシップ育成の機会を提供し、次世代を担う人財を積極的に育成します。

## Growth#4 財務戦略

～効率で創る、  
未来へつなぐ安定基盤～

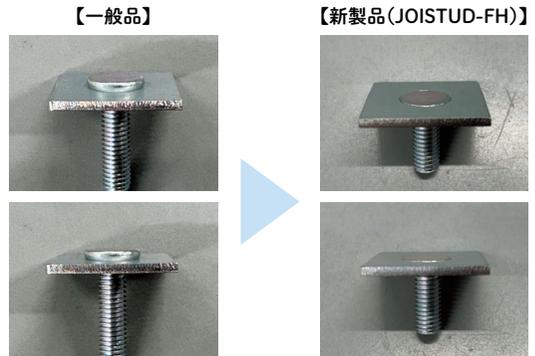
Growth#4 財務戦略は、付加価値を生み出す源泉である「稼ぎ力」をさらに強化。財務の健全性を維持しつつ、投資の効率化を図り、持続可能な成長のための基盤を強化します。投資効果の見える化を進め、投資判断や資産管理を徹底して利益率向上に取り組むと同時に、デジタル技術を活用して業務効率化を推進していきます。また、迅速な経営判断で安定した財務体質を実現し、社会に還元できる強固な基盤を築き上げます。

## 新製品クリンチングスタッドボルト 「JOISTUD®(ジョイスタッド®)-FH」の販売を開始

2024年12月1日より、新製品クリンチングスタッドボルト「JOISTUD®(ジョイスタッド®)-FH」の販売を開始しました。鋼板などの締結部材に頭部を圧入して一体化させるクリンチングスタッドボルトは、自動車業界を中心に多くの業界で利用されています。

近年、製品の高機能化が進み、部品点数が増加する中で、限られたスペースに部品を配置する必要性が高まっています。そのため、クリンチングスタッドボルトにも小型化や省スペース化が求められています。現在市販されている低頭のクリンチングスタッドボルトは、強い締付けトルクや外力によって頭部が変形したり陥没したりする不具合が発生することがありました。これらの課題に応えるために開発されたのが、「JOISTUD®(ジョイスタッド®)-FH」です。当社の工業用ファスナー（ねじ）製造技術と金型製造技術を活かし、締結時の安全性を高め、圧入後に頭部が突出しない埋込み型クリンチングスタッドボルトを実現しました。

従来品と同様に圧入するだけで、締結部材からの頭部の突出を抑制し、締結時の軸力による頭部の陥没を軽減することで、お客様のモノづくりを強力にサポートしてまいります。



新製品「JOISTUD-FH」は、頭部の厚みを極限まで薄くすることで、締結部材に頭部外周全体を圧入することが可能

## NITTOSEIKO's CSR | 地域社会とのつながりを大切にしています

当社はもともと地域雇用創出を目的に創業した企業であり、地域社会とのつながりを非常に大切にしています。社会貢献（CSR）の一環として、2024年10月から12月に行った活動を以下に列挙します。

10月26日には、綾部商工会議所青年部が企画した小学生向けの「子どもお仕事体験！」に協力しました。また、綾部市観光協会主催の「大人の社会科見学、オープンファクトリー」（12月14日開催）でも、当工場をご案内いたしました。さらに、従業員が各種講師を務めており、産機事業本部技術開発課の岩崎拓夫は、パラグライダーのワールドカップなどで世界を転戦していますが、11月25日に出身校である舞鶴市の小・中学校で講演を行いました。11月29日には、当社経営戦略本部の坂本禎人が「綾部高校初任者勤務校研修」において、「地域社会との連携・協働」と題して、企業が行う地域活性化や地域産業発展の取り組みについて講話しました。

そのほかにも、12月10日には綾部市教育委員会が主催する「人権を考えるセミナー」に日東精工グループとして共催し、障害者バンド「ヨンディサビリティーズ」を招いたコンサートにも参画しました。また、12月2日、1月6日には受験生を応援する恒例企画「受験生応援ゆるみ止めねじプレゼントキャンペーン」の応募受付も開始しました。



左上から時計まわりに「子どもお仕事体験！」（左端は当社代表取締役会長 材木正己）、舞鶴の小中学校で講演する岩崎拓夫。「綾部高校初任者勤務校研修」の講師を務める坂本禎人、大人の社会科見学



今年度も受験生応援ねじキャンペーンを開始しています

## トップが率先して 当社の魅力を発信しています

社員一人ひとりが自社の製品や事業内容に自信と誇りを持ち、さまざまな場において自分の言葉で発信することで、企業価値が高まります。当社では、代表取締役社長の荒賀誠が率先して自社の強みや魅力を発信しています。2024年11月から4週にわたり、古館伊知郎さんがMCを務めるABEMA番組『For JAPAN -日本を経営せよ！-』に出演しました。また、アドバイザーナビ（富裕層とビジネスをマッチングさせるFIP）が発信するWEBでのロングインタビューも受けています。さらに、11月27日には丹後機械工業協同組合、京丹後市商工会、（公財）京都産業21舞鶴共催の講演会でお話しし、日東精工の潜在力や魅力を発信しました。



## 「日経サステナブル総合調査 スマートワーク経営編」3星に認定

当社はこの度、日経サステナブル総合調査「スマートワーク経営編」において、3星に認定されました。この調査は2017年から日本経済新聞社と日経リサーチが実施しており、全国の上場企業と有力非上場企業を対象に、人材活用、人材投資、テクノロジー活用の3要素によって評価されます。

今回の調査において、当社は「人材活用力 A++」「人材投資力 A+」「テクノロジー活用力 B++」という分野別評価を受け、総合評価3星に認定されました。社是には、健康を増進し、よい人づくりを行うことを掲げ、創業当初より健康で働きやすい職場環境づくりに努めています。また、「Mission G-second」では「人財戦略」を柱の一つに据え、人財を通じた企業価値向上に取り組んでいます。

今回いただいた評価を糧に、一人ひとりの多様性に応じた人づくりと環境づくりをさらに推進し、企業価値の向上に努めてまいります。

NIKKEI  
**Smart Work**

★★★ 2025

## マレーシア現地法人が ビジネスパートナー表彰

P1でも触れていますが、当社の中期経営計画におけるGrowth#1 事業拡大戦略では、国内外の市場でさらなる成長を目指し、新たな価値の創造に挑むとしています。そして、海外市場でのシェア拡大と販路の拡充を積極的に進める最前線が現地法人です。

このたび、マレーシアの当社現地法人MPM社が、11月25日に開催されたDaikin Electronic Devices Malaysia Sdn. Bhd. のサプライヤーミーティングにおいて、長年のビジネスパートナーとして表彰されました。この受賞は、当社がお客様を大切にしている証であり、今後もより良いサービスを提供してまいります。



受賞時にいただいたトロフィー

## 当社社外取締役 平尾一之が 「瑞宝中綬章」を受章

2024年秋の叙勲で、当社社外取締役であり、京大名誉教授の平尾一之が「瑞宝中綬章」を受章しました。平尾社外取締役は、千兆分の1秒単位の「フェムト秒」で光る世界最先端の加工技術の研究に携わり、さまざまな国家プロジェクトにも参画しています。また、現在は京都市成長産業創造センターのセンター長も務めています。

2017年に当社社外取締役に就任して以来、産学連携や京都のベンチャー企業との橋渡し役などを担っています。



# 装いは人のため

代表取締役社長

荒賀 誠

**当** 社ではインドでの事業展開を本格的に進めていますが、先般インドの方から「食べ物はその好みで、化粧品は他人の好みで」という諺を教わりました。

「化粧品は他人の好みで」というと、〈他人の目を気にしすぎ〉〈他人におもねて（媚びて）自分を抑えすぎ〉、あるいは〈男尊女卑〉とネガティブに感じるかもしれません。 「化粧品」を「身だしなみ」というようにとらえてみると、人とのつながりのなかでの装いは、他の人への気遣いや謙虚さの表れとも受けとれるでしょう。オシャレの本義は他者への思いやり・感謝と聞いたことがありますし、

実際、冠婚葬祭をはじめ仕事でも重要なシーンでは、相手を考え、着るものや顔まわりにも気を配る人が多いと思います。

サッカーの三浦知良さんが移籍した新チームで、選手が自由な服で練習している姿を見て、揃いの練習着にするよう監督に箴言したというコラムを読みました。練習中でも服装がバラバラでは同好会のように、外からは闘うチームに見えない。ささいなことでも、他の人の目にどう映るかは大事というわけです。

オンオフのメリハリは大切ですが、オンタイム（闘うとき）には、私もピシッとキメていきたいと思えます。

※日本のGDP（国民総生産）はインドに肉薄されていて抜かれるのは時間の問題だといわれています。当社は今年度インドのVulcan社をM&Aして事業を本格化、インドとの関係を深めてまいります

## 「幸せ」を見つけるヒント ——— 1月

### 世界とつながるチャンス！

以前、歌手の喜納昌吉さんと山崎善也綾部市長と鼎談をしたことがあります。喜納さんは、今でも世界中から愛され歌われている「花」という曲を作られました。この曲ができたのは、最初の東京オリンピックのときで、たまたま閉会式をテレビで見ている際、アナウンサーの「世界中の人がつながっています」という実況の声からインスピレーションが生まれたといえます。

2025年4月から大阪・関西万博が開催され、世界からたくさんの人、モノ、そして技術が一堂に会し

ます。準備や運営に対してさまざまな意見が寄せられています。でもインターネットではなく、新しいものに直接触れ、刺激を受けられるのはとても良いことです。特に若い世代にとっては大きなチャンスになると思いますので、当社ではこの万博を応援しています。ぜひ、皆さんも足を運ばれてはいかがでしょうか。



「2025年日本国際博覧会協会」の大門孝治総務局長が当社を訪問。感謝状を当社代表取締役社長荒賀誠（右）に授与

日東精工代表取締役会長  
綾部商工会議所会頭 材木正己

